

平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年12月30日

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所 東
 コード番号 2300 URL http://www.cl-kyokuto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 年廣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 三好 清一郎 (TEL) 092-503-0050
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	5,565	△1.9	320	△16.2	386	△14.1	231	△29.9
27年2月期第3四半期	5,670	△1.1	382	25.5	449	23.8	329	68.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年2月期第3四半期	41.75		—					
27年2月期第3四半期	59.52		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	5,310	3,829	72.1
27年2月期	5,234	3,683	70.4

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 3,829百万円 27年2月期 3,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	5.50	—	7.50	13.00
28年2月期	—	5.50	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,315	5.0	345	182.7	410	93.6	239	35.9	43.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期3Q	5,551,230株	27年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	9,651株	27年2月期	9,561株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期3Q	5,541,643株	27年2月期3Q	5,541,719株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速の影響がみられるものの、企業収益が改善を続ける中で設備投資が増加するなど緩やかな回復傾向が続いております。これに伴い雇用環境については、その改善は底堅く推移しているものの、消費活動については、慎重姿勢を続ける家計の支出は抑えられ、個人消費は伸び悩む状況が見られます。

このような外部環境下、クリーニング業界におきましては、衣料のカジュアル化やクールビズの定着、また、消費者の節約志向が依然として根強いことから本格的な需要の回復には至らず、引き続き厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中で当社は、お客様の利便性と満足度の向上及び品質と生産性の向上に取り組みました。

設備投資においては、生産の効率化を図るため9月30日に松工場(大阪市西成区)を閉鎖し、10月1日に大正工場(大阪市大正区)を新たに開設して、生産を移転しました。

生産面においては、10月1日よりワイシャツ・水洗いクリーニングに「消臭・抗菌加工」を導入しました。この「消臭・抗菌加工」は、天然由来の防臭成分「グラフトポリマー」と「銀イオン」を繊維に加工することで、長時間に亘り臭いの発生と付着をダブルで防止し、優れた消臭・防臭・抗菌効果を発揮します。これにより、高い品質と付加価値をお客様にご提供してまいります。

営業面においては、新規出店と店舗リニューアルを積極的に実施しました。新規出店は、新たに16店舗(うち1店舗は平成26年12月1日付事業の一部譲受けで取得した店舗)を出店しました。店舗リニューアルは、お客様の利便性の向上を図るため駐車スペースを増設するなどを実施しました。また、直営店の全スタッフが参加する「営業ミーティング」を継続して実施し、サービス改善とお客様満足度の向上及び店舗の活性化を図りました。加えて、販促活動として秋の衣替えシーズンに合わせて「新規ご入会キャンペーン」を実施し、特別会員数と需要の拡大に努めました。

店舗政策は、不採算店の閉鎖や取次店オーナーの高齢化に伴う閉鎖により49店舗を閉鎖し、当第3四半期累計期間末の店舗数は708店舗(前事業年度末に比べて33店舗の減少)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要があった昨年3月に比べ大きく需要が落ち込み、加えて第2四半期が天候不順の影響を受け需要が低迷したことにより、売上高は5,565,812千円と前年同四半期と比べ105,153千円(1.9%)の減収となりました。

利益につきましては、営業利益は320,138千円と前年同四半期と比べ61,939千円(16.2%)の減益、経常利益は386,365千円と前年同四半期と比べ63,469千円(14.1%)の減益となりました。

四半期純利益は、前年同四半期で固定資産売却益127,602千円を特別利益に計上したことなどにより、四半期純利益は231,382千円と前年同四半期と比べ98,487千円(29.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて133,344千円増加し、1,739,038千円となりました。これは、現金及び預金が129,464千円、売掛金が24,181千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて57,521千円減少し、3,571,318千円となりました。これは、有形固定資産が21,830千円、無形固定資産が21,833千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて75,822千円増加し、5,310,357千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて24,091千円増加し、879,200千円となりました。これは、未払法人税等が52,367千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて94,008千円減少し、602,093千円となりました。これは、長期借入金が82,458千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて69,917千円減少し、1,481,294千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて145,740千円増加し、3,829,063千円となりました。これは、利益剰余金が159,341千円増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月14日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,356,645	1,486,109
売掛金	62,850	87,031
商品	28,715	29,061
原材料及び貯蔵品	22,695	22,621
前払費用	83,668	78,912
その他	51,119	35,302
流動資産合計	1,605,694	1,739,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	536,806	516,972
土地	1,959,836	1,959,836
その他(純額)	109,264	107,267
有形固定資産合計	2,605,907	2,584,077
無形固定資産		
のれん	44,381	34,077
その他	84,167	72,637
無形固定資産合計	128,548	106,715
投資その他の資産		
差入保証金	546,862	550,500
その他	347,521	330,026
投資その他の資産合計	894,383	880,526
固定資産合計	3,628,840	3,571,318
資産合計	5,234,534	5,310,357
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,308	41,512
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	121,646	109,944
未払金	331,102	338,317
未払法人税等	67,920	120,287
賞与引当金	23,063	37,934
資産除去債務	-	1,075
その他	181,069	130,130
流動負債合計	855,109	879,200
固定負債		
長期借入金	213,508	131,050
退職給付引当金	117,289	124,213
役員退職慰労引当金	121,911	122,805
資産除去債務	104,094	102,026
その他	139,299	121,999
固定負債合計	696,102	602,093
負債合計	1,551,211	1,481,294

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	2,721,312	2,880,653
自己株式	△3,135	△3,187
株主資本合計	3,669,243	3,828,533
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,079	530
評価・換算差額等合計	14,079	530
純資産合計	3,683,323	3,829,063
負債純資産合計	5,234,534	5,310,357

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	5,670,966	5,565,812
売上原価	1,652,602	1,648,656
売上総利益	4,018,363	3,917,156
販売費及び一般管理費	3,636,285	3,597,017
営業利益	382,078	320,138
営業外収益		
受取利息	352	627
受取配当金	557	582
受取家賃	29,962	30,238
その他	41,581	37,741
営業外収益合計	72,454	69,189
営業外費用		
支払利息	3,003	2,011
その他	1,693	951
営業外費用合計	4,697	2,963
経常利益	449,834	386,365
特別利益		
固定資産売却益	127,602	0
投資有価証券売却益	-	10,604
特別利益合計	127,602	10,604
特別損失		
固定資産売却損	-	245
固定資産除却損	1,770	5,358
和解金	-	165
投資有価証券評価損	153	-
特別損失合計	1,923	5,769
税引前四半期純利益	575,513	391,201
法人税等	245,642	159,818
四半期純利益	329,870	231,382

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当第3四半期累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

取得による企業結合

(有限会社マスヤ)

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 有限会社マスヤ

事業の内容 ホームクリーニング業

②企業結合を行った主な理由

ホームクリーニング業の更なる拡大と収益向上のため

③企業結合日

平成27年12月1日

④企業結合の法的形式

事業の譲受け

(2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得原価の対価(現金) 15,949千円

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん(金額)

13,133千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したもの

③償却の方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

差入保証金 2,816千円